首里城復元のための関係閣僚会議（第４回）　議事録

日　時：令和２年３月27日（金）　7:55～8:05
場　所：官邸３階南会議室
出席者：菅　　義偉　内閣官房長官（議長）
　　　　衛藤　晟一　内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）
　　　　赤羽　一嘉　国土交通大臣
　　　　麻生　太郎　財務大臣
　　　　高市　早苗　総務大臣
　　　　萩生田光一　文部科学大臣
　　　　江藤　拓　　農林水産大臣

（衛藤内閣府特命担当大臣）
　ただいまから、首里城復元のための関係閣僚会議を開催いたします。お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。
　それでは議事に入ります。
　まず始めに、下野内閣官房内閣審議官より、「首里城正殿等の復元に向けた工程表（案）」について説明をお願いいたします。

（下野内閣官房内閣審議官）
　それでは資料をご覧ください。
　冒頭に記載のとおり、内閣府沖縄総合事務局に設けた、首里城復元に向けた技術検討委員会での昨年１２月から全９回にわたる議論を経て、「技術的検討に関する報告」が取りまとめられており、その報告も踏まえ、関係省庁において検討を進め、「首里城正殿等の復元に向けた工程表（案）」を策定しています。
　１の基本的な考え方では、前回復元時の設計・工程を踏襲することを基本とし、今般の火災を受けて、防火対策の強化及び材料調達の状況の変化等の反映の観点を踏まえ工程を定めるとしています。
　２の技術的課題に関する方針では、先ほど説明した「技術的検討に関する報告」を踏まえた事項を整理しています。
　具体的には、（１）防火対策の強化に関し、二度とこのような火災による焼失を生じさせないよう、文化庁のガイドラインを踏まえた再発防止策を講じるとしています。
　また、首里城正殿に、最先端の自動火災報知設備等の火災の早期発見のための設備や、スプリンクラー設備等の迅速な初期消火のための設備を導入するとしています。

さらに、消火用の水を城郭内に送るための連結送水管設備を導入するほか、貯水槽を増設するとともに、関係機関と連携して消火栓の新設を検討するとしています。

なお、貯水槽等の増設に当たっては、世界遺産である首里城の地下遺構の保護を前提に設計・施工を行うとしています。

つづいて、（２）材料調達の状況の変化等の反映に関し、まず、木材の調達では、往時の首里城に使用されていたと推定されているイヌマキ等の活用が望ましいものの、これらの樹種は稀少材であり、大量の材の調達は困難な状況であるため、今回の復元においても前回同様ヒノキ科の無垢材を使用するとしています。

具体的には、国産ヒノキを中心にしつつ、カナダヒノキ等について、引き続き市場調査を行うとしています。

漆については、前回復元時と同様、基本的に中国産を使用することとし、沖縄独特の赤瓦については、沖縄本島産の材料を調達するとともに、沖縄県内に蓄積、承継されている伝統技術の活用を図るとしています。

その上で、３の首里城正殿等の復元に向けた工程表では、以下のような記載をしています。

『上記を踏まえて、首里城正殿について、令和２年度早期に設計に入り、令和４年中には本体工事に着工し、令和８年までに復元することを目指すこととし、北殿や南殿等を含め別添のとおり復元に向けた取組みを進めることとする。その際、復元過程の公開や観光振興など地元のニーズに対応した施策を推進する。

その上で、今後、沖縄県や地元の関係者の意見も踏まえながら、速やかに首里城北殿や南殿等の復元に向けた具体的な検討に着手するとともに、「首里城復元に向けた技術検討委員会」において工程表を踏まえた詳細な検討を進める。』

説明は以上です。

（衛藤内閣府特命担当大臣）

ただいま説明のありました「首里城正殿等の復元に向けた工程表（案）」につきまして、本関係閣僚会議の決定としたいと存じますが、御異議ございませんか。

（異議無しの声）

ありがとうございます。それでは、本工程表を関係閣僚会議の決定といたします。

それでは、最後に菅内閣官房長官から御挨拶を頂きます。プレスが入りますのでしばらくお待ちください。

それでは、菅内閣官房長官から御挨拶を頂きます。

（菅内閣官房長官）
　本日、これまでの議論を踏まえて、「首里城正殿等の復元に向けた工程表」を決定いたしました。
　昨年末に、これまで復元に携わってきた沖縄の有識者の方を含めた技術的な検討の場を設け、沖縄県民の意見を十分に反映できるよう沖縄県の参画を得ながら検討した結果を盛り込んでおります。
　今後、首里城正殿について、令和２年度早期に設計に入り、令和４年中に本体工事に着工することといたします。そして、令和８年までの復元を目指すことといたします。また、この工程表では、スプリンクラーの設置などによる防火対策の強化や国産ヒノキを中心とする木材の調達の方向性などを示しています。
　首里城は、沖縄の皆さんの誇りとも言える、極めて重要な建造物です。政府として、この工程表に基づき、沖縄県や地元の関係者、有識者の方々と共に、首里城正殿の復元を進めるとともに、速やかに首里城北殿や南殿等の復元に向けた検討に着手することとし、引き続き、国営公園事業である首里城の復元に向けて、責任を持って取り組んでまいります。
　関係大臣は、密接に連携し、予算措置を含め、本工程表に従い必要な措置を講じていくとともに、ゴールデンウィークまでに首里城正殿の地下遺構の見学を可能とすることをはじめ、復元過程の公開や観光振興など地元のニーズに対応した施策を推進いただくようお願いします。

（衛藤内閣府特命担当大臣）
　ありがとうございました。プレスは退室願います。
　それでは、本日の首里城復元のための関係閣僚会議は、これで閉会したいと存じます。お忙しい中、誠にありがとうございました。